

8月臨時医療安全管理室ニュース

2023年8月25日 あおもり協立病院 医療安全管理室

同様のインシデントが複数回ありましたので、ご注意ください

注意「ペン型インスリンの針の取り扱いについて」

インスリンの準備でキャップを外したら

前回使用した針が付いたままだった



※針刺し事故に繋がります。針捨てBOXの持参を忘れずに、

使用後はその場で速やかに針を廃棄してください！

現在使用している針（マイクロファインプロ）は

キャップを置くことで、安全にリキャップできるようになっています。

針を付けようとしたら違和感が・・・

使用後の折れた針がインスリンの先端に刺さっていた



注入ボタンが押せても薬液が出ていない可能性があります。
インスリン本体のゴム栓に刺さる針が曲がって折れていても、
注入ボタンが押せてしまうことにご注意ください！



いつも通り注入ボタンは押せだし、
目盛りも0まで戻っているから注射完了！



でも、注射針を正しく
装着できていないと
薬液が出ていないことが
ありますよ。

注射針を注入器に取り付ける際の留意点

「液が出ない、注入ボタンが押しづらい、押せない」という場合、多くは
「注射針が正しく装着されていない」ことが原因です。



使い慣れているし、
いつも通り注射針をまっすぐ取り付けたし大丈夫！

本当に、注射針はまっすぐ装着できていますか？
注射針を正しく装着したと思っても、注射針の後針（注入器のゴム栓に
刺さる針）がゴム栓以外の部分に接触した場合、以下の写真のような
事象が認められる場合があります。



金属キャップの傷



折れた後針が刺さっている



後針の折れ曲がり



後針の破損



正しい注射を行うために

- ✓ 注射針はゴム栓にまっすぐ奥まで刺し、正しく取り付ける
- ✓ 必ず空打ちをして薬液が出ることを目で見て確認する



どうしてもまっすぐ取り付
けることができない場合、
利き手で注入器を持ち、
注入器の方を注射針に刺す
ようにすると正しく装着し
やすくなります。

ノボノル
ディスク
ファーマ
HP
より引用

皆様の報告が患者安全につながります！ご協力宜しくお願いします！